

科目名	デザイン実習 5							年度	2026
英語科目名	Design Course 5							学期	後期
学科・学年	デザイン科 グラフィックデザイン専攻 3年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	井口亮	教員の実務経験		有	実務経験の職種		グラフィックデザイナー		
【科目の目的】 卒業制作を通じて専門的な表現力と課題解決力を高めると同時に、卒業後にデザイナーとして活動していくための自己プロデュース力を育成することを目的とする。作品制作の計画性や自主性を高めるだけでなく、成果を社会に発信し、自己の強みを言語化・可視化する経験を積ませる。さらに、進路に応じた実務課題や就職活動を支援し、卒業後も継続的にスキルアップできる姿勢を身につけることを目指す。									
【科目の概要】 卒業制作の完成度を高めるフォローアップを行うとともに、就職活動や将来のデザイン活動に直結する意識づけを行う。制作過程での試行錯誤や改善を記録・共有し、それを通じて自己のデザイン力を客観的に評価できるようにする。また、企業課題や模擬発表を通じて実務的な課題解決力と自己アピール力を強化し、デザイナーとして自らの可能性をプロデュースする基盤を築く。									
【到達目標】 本科目では、A～Eの能力を総合的に育成することを到達目標とする。Aでは卒業制作を計画的に進め、自己管理能力を養う。Bでは社会的に通用する完成度を追求し、独自性を示す。Cでは発表や共有の場を通じ、自己の強みを的確に伝える力を培う。Dでは就職課題や実務的演習を通じて実践対応力を高める。Eでは課題制作の共有を通じて社会的な姿勢を学び、卒業後に自己をプロデュースしながら活動できる意識と基盤を養う。									
【授業の注意点】 クラス＝デザイン制作室という認識をもってより良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。制作にあたってはデザイナーとして各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	主体的に計画を立て進行を安定させる	計画的に進行し遅れなく対応できる	おおむね計画通り進められる	計画が甘く遅れがちである	計画性に欠け進行できない				
到達目標 B	独自性と社会的完成度を兼ね備える	完成度が高く目的を十分達成する	必要水準に到達する	完成度が低く改善が必要である	完成に至らず不十分である				
到達目標 C	明確に強みを伝え高い説得力を示す	整理された発表で意図を伝えられる	基本的に意図を伝えることができる	意図が曖昧で伝達が弱い	発表が不十分で伝わらない				
到達目標 D	実務課題や就活課題に的確に対応できる	実務課題に適切に対応できる	基本的対応が可能である	実務対応に不安が残る	実務課題に対応できない				
到達目標 E	他者課題を理解しながら主体的に自己を発信し、将来像を描ける	他者課題の共有に積極的に参加できる	課題に取り組み基本的成果を出せる	課題制作が消極的で限定的である	共有や発信ができず孤立している				
【教科書】 参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題完成度50%提出課題完成度を総合的に評価する。リサーチ20%制作準備と過程を評価する。相談検証20%制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。プレゼン10%制作物の発表方法、内容について評価する。									
演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン実習 5			年度	2026
英語表記		Design Course 5			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	卒制・進路課題と自己プロデュースの位置づけを理解する	1 授業方針説明	卒制と自己プロデュースの方向性を明確にできる	2	
			2 卒制/進路課題確認			
2	制作進捗報告①+自己紹介演習	制作状況の共有と発表力の基礎を学ぶ	1 進捗発表	制作計画を修正し実行できる	2	
			2 課題確認			
3	制作作業①+プロフィール作成	制作を進めつつ自己表現を強化する	1 制作作業	自己を言語化して発信できる	2	
			2 指導と助言			
4	制作進捗報告②+ポートフォリオ整理①	作品の見せ方を説明する	1 発表と講評	成果物を整理して発信準備ができる	2	
			2 ポートフォリオ整理			
5	制作作業②+ポートフォリオ構成	制作と並行して構成を考える	1 制作作業	ポートフォリオ改善の基本構成を立てられる	2	
			2 改善作業			
6	就職課題対応①+模擬エントリー演習	実務課題を体験し応募力を強化する	1 企業課題制作	実務課題と自己PRを両立できる	2	
			2 模擬提出物作成			
7	制作進捗報告③+ポートフォリオ整理②	成果物とポートフォリオの方向性を確認	1 発表と質疑応答	成果とポートフォリオを連動できる	2	
			2 ポートフォリオ更新			
8	制作作業③+プレゼン準備	作品を仕上げ発表準備を進める	1 制作作業	発表資料を自己PRと結びつけられる	2	
			2 発表資料作成			
9	就職課題対応②+模擬面接①	発表力と対話力を実践的に磨く	1 就職課題発表練習	面接形式で自己を伝えられる	2	
			2 改善助言			
10	制作進捗報告④+ポートフォリオ共有	完成直前の仕上げと共有を行う	1 成果発表	作品とポートフォリオを第三者視点で確認できる	2	
			2 相互レビュー			
11	制作作業④+自己発信演習	発表資料とSNS発信力を鍛える	1 SNS用紹介文作成	自己発信を意識的に行える	2	
			2 模擬発信演習			
12	模擬発表①+模擬面接②	自己プロデュースを試行する	1 模擬発表	強みを多角的にアピールできる	2	
			2 フィードバック			
13	制作作業⑤+プレゼン最終調整	成果物と発表内容を完成させる	1 個別指導	完成物と発表を統合できる	2	
			2 発表練習			
14	模擬発表②+後輩への伝達演習	発表を通して後輩へ伝える意識を持つ	1 模擬発表	後輩を意識した発信ができる	2	
			2 フィードバック共有			
15	最終発表+総括	成果を発表し今後の自己プロデュース指針を整理する	1 課題発表	卒業後に向け自己を発信できる指針を持てる	2	
			2 総合講評			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等